平成３０年度　秀峰園事業報告

令和元年６月１０日
秀峰園　松藤　義徳

１、職員配置　　**平成３１年３月３１日現在**

管理者　１　　ｻｰﾋﾞｽ管理責任者　１　　目標工賃達成指導員　１　　生活支援員　３
職業指導員　（２）　　調理員　（２）　　嘱託医　（１）
※　（　）内の数は非正規職員

２、開所日数・利用者数・出勤率

平成３０年度は、２６名で始まり、１１月に１名退所で、最終的に２５名の登録となりましたが、長期の欠勤や入院、一般企業やデイサービスを併用利用する方がいる為、出勤率は上がりませんでした。

	開所日数	利用者数	実利用者数	延利用日数	出　勤　率	出勤率（２０名）
４ 月	２２ 日	２６ 人	２６ 人	４３２ 日	７５．５ ％	９８．２ ％
５ 月	２２ 日	２６ 人	２５ 人	４３７ 日	７６．４ ％	９９．３ ％
６ 月	２３ 日	２６ 人	２５ 人	４７１ 日	７８．８ ％	１０２．４ ％
７ 月	２３ 日	２６ 人	２５ 人	４６５ 日	７７．８ ％	１０１．１ ％
８ 月	２３ 日	２６ 人	２５ 人	４６８ 日	７８．３ ％	１０１．７ ％
９ 月	２２ 日	２６ 人	２６ 人	４５３ 日	７９．２ ％	１０３．０ ％
１０ 月	２４ 日	２６ 人	２６ 人	４５９ 日	７３．６ ％	９５．６ ％
１１ 月	２３ 日	２５ 人	２５ 人	４４８ 日	７７．９ ％	９７．４ ％
１２ 月	２２ 日	２５ 人	２５ 人	４４９ 日	８１．６ ％	１０２．０ ％
１ 月	２２ 日	２５ 人	２４ 人	４１７ 日	７５．８ ％	９４．８ ％
２ 月	２１ 日	２５ 人	２４ 人	３８６ 日	７３．５ ％	９１．９ ％
３ 月	２２ 日	２５ 人	２４ 人	４３７ 日	７９．５ ％	９９．３ ％
合　計	２６９ 日	３０７ 人	３００ 人	５，３２２ 日	７７．３ ％	９８．９ ％

３、平均年齢・平均通所年数　　（ 男 １６名　：　女 ９名 ）

平 均 年 齢	５５．９歳	（ 男 ５８．３歳 ： 女 ５９．６歳 ）
平均通所年数	１４．２年	（ 男 １２．５年 ： 女 １７．２年 ）

４、作業支援

縫製班

下請け作業

アンネルについて、会社との連絡調整により、１年間ある程度安定した受注を受ける事が出来ました。しかし、利用者の遅刻、早退、退職等により、出勤メンバーと状況を毎日確認しながら、受注調整をし、出来る限り納品を行いましたが、売り上げは伸びませんでした。

盛和について、フレコン（フレキシブルコンテナバック）の部分縫い作業の受注を１年間受ける事が出来ましたが、デイサービスとの併用で、週２日休む方がいますので、曜日を見ながら、利用者に作業を提供し、出来る限りの納品を行いました。

自主製品

きょうされんふきんについて、昨年度より売り上げが増収しましたが、今後もふきんのクオリティーを維持しながら、売り上げを伸ばしていけるよう取り組んでいきます。

自主製品（小物）については、１名の利用者が中心の為、大量生産は出来ていませんが、クッションや枕・枕カバー等、売り上げを伸ばしていけるよう努めます。

軽作業班

リサイクル作業

曜日によって、回収がマニュアル化され、安定した回収量を確保しながら、新聞や金属等、換金率の高い業者に納品しました。しかし、単価の下落やペットボトルが０円や電化製品等の雑品が引取き出来なくなり、リサイクル作業の収入は減収しました。作業として、雑品を解体、選別し、中の金属や部品を仕分けして、収入となるようやっています。

リサイクル作業は、回収を通じて、地域の方との繋がりにもなっているので、今後は収入面が増収するよう努めたいと思います。

役務

毎年依頼していただくお客様が確立し、そこからの紹介等での新規のお客様とちくほう結の「たすけあい事業」からの依頼もあり、今年も安定した受注がありましたが、昨年度の様に大口顧客等がなく、収入は減収しました。
夏場を中心に受注を受けますが、家の片づけ等、地域の方が困っている事を作業として受けれるよう努めて行きたいと思います。

販売

催事販売は、地元開催を中心に出来る限り参加しましたが、天候や災害の理由による中止が多く、増収する事が出来ませんでした。
施設販売は、商品を入れ替える等の工夫があり、増収となりました。今後もお客様の要望に沿った販売が出来るよう努めたいと思います。
道の駅などの委託販売は、英彦山が一年間安定して売り上げがあった事や「チョコポン」等、冬場限定の商品やポンせんべい「しそ味」を開発、販売するようになり、売り上げが増収しました。
今後は、新商品を開発すべく、情報収集しながら、取り組んで行きたいと思います。

加工

「ポンせんべい」を中心に販売や納品に合わせて、質・量ともに生産する事が出来た事もあり、売り上げを伸ばす事が出来ました。新商品の開発と、加工に携わる利用者を増やす事が課題ですが、少ない人数体制の中、一人ひとりがいろんな作業を効率よくやってくれました。

６、作業班人数及び工賃支払状況

下半期	上半期計	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
縫製班（９名）	893,269	151,833	126,567	163,999	145,841	115,961	169,275	1,766,745
軽作業班（１８名）	1,627,322	255,213	241,654	301,035	219,918	215,079	311,934	3,172,155
工賃総額	2,520,591	458,074	368,221	465,034	365,759	331,040	481,209	4,938,900
縫製班（平均）	16,542	16,870	15,821	20,500	18,230	14,495	21,159	
軽作業班（平均）	15,954	15,013	14,215	17,708	13,745	13,442	18,349	

７、利用者支援

「仕事をしたい」「お金を稼ぎたい」という思いを大事にしながらも、利用者全体的に加齢から来る障害の衰えが顕著になり、長期欠勤、入院、手術もありました。その状況を踏まえ、職員は、障害の配慮や見守りを重視しました。作業を中心に支援していきましたが、作業以外でも利用者の喜ぶ事、求めている事は何かと考え、可能な限り行ってきました。

病院等の送迎も受け入れ、秀峰園を利用出来るよう支援しました。独居の方も多く、大半が車を運転出来ないか、家族の支援がない為、入院手続きや付き添いも支援しました。市役所からの書類の説明や提出、手続きや更新の支援も行いました。聾唖者に対しては、職員のほとんどが手話を使え、コミュニケーションを取り、意思の疎通が出来るという安心もしてもらいました。

８、生活支援

健康管理

毎朝ラジオ体操や検温を行っているので、体温の変化もすぐに分かり、体調不良の早期発見に繋がりました。インフルエンザの予防接種に行けない方は秀峰園で連れて行きました。また、年２回行っている田川診療所による健康相談で身体に対する注意点や改善点を本人と職員に指導していただきました。

医療情報財団による年２回の健康診断は出来る限り受診してもらうよう声掛けをし、再検査の診断が出た方には病院に行くよう促し、必要ならば家庭に連絡、報告しました。

健康相談や健康診断を通じて、体調や精神状態を把握し、安定を図りながら、秀峰園に毎日出勤出来るような健康状態を作るよう声掛けしました。

防災管理

年２回の避難訓練（避難誘導・消火・通報）を利用者に実施日は伝えず、実際の火災に想定した意味のある避難訓練を行っています。聾唖者は特にサイレンが聞こえないので、秀峰園で設置しているパトライトの点灯を確認出来たか、職員が火事だとスムーズに伝える事は出来たか等、館内放送、避難経路、誘導、避難場所の確認をし、最後は水消火器での消火訓練を行いました。

９、職員研修

利用者に対する支援や食品を扱う上での知識、スキルの習得の場とする事と職務上必要な能力や専門性が身に付くように、また、他業種の考えや情報を得る事により、人間の幅を広げ一層のサービス向上や教育、自己啓発や成長にも繋げていく事を目的に、様々な研修と運動に参加しました。

４/５	たんぽぽ後援会
４/１７	障害者週間を考える連絡会事務局
４/２６	たんぽぽ後援会
５/１３	きょうされん福岡支部定期総会
５/１５	障害者週間を考える連絡会事務局
５/２３	きょうされん全国総会代議員
５/２４	国会請願署名議員まわり
５/３１	福岡ライフレスキュー説明会
６/３	基本合意をめざす会
６/１４	たんぽぽ後援会
６/１８	安全運転管理者講習
６/１９	障害者週間を考える連絡会事務局
６/２２	食品表示講習会
６/２３	たんぽぽ後援会
６/２９	福岡県集団指導
７/５	たんぽぽ後援会
７/６	基本合意をめざす会
７/１０	メディ・ウェル　ミーティング
８/１	川崎町まちづくりフォーラム
８/２	たんぽぽ後援会
８/２１	障害者週間を考える連絡会事務局
８/２５	基本合意をめざす会
９/１、２	きょうされん職員学習交流会
９/６	たんぽぽ後援会
９/１３	苦情解決従事者研修
９/１８	障害者週間を考える連絡会事務局
９/２１、２２	きょうされん第４１回全国大会 IN 京都
１０/１６	食品表示法説明会　　障害者週間を考える連絡会事務局

１０/２２	福岡県社会福祉大会
１０/２４	きょうされん事務研修
１０/２８	基本合意をめざす会
１１/１	たんぽぽ後援会
１１/１７	利用者ケース会議
１１/２０	障害者週間を考える連絡会事務局
１１/２３	人権問題研究集会
１２/１	しあわせの会
１２/４	人権講習会
１２/６	たんぽぽ後援会
１２/１５	利用者ケース会議
１２/１８	障害者週間忘年会
１２/２８	利用者ケース会議
１/７	たんぽぽ後援会
１/１０	川崎町まちづくり勉強会
１/１２	たんぽぽ後援会新年会
１/１５	障害者週間を考える連絡会事務局
１/２７	基本合意をめざす会
１/２９	メディ・ウェル　ミーティング
２/１	きょうされん施設長会
２/２	きょうされん学習会
２/１６，１７	きょうされん九州ブロック学習交流会 IN 長崎
２/１９	障害者週間を考える連絡会事務局
３/７	たんぽぽ後援会
３/２１	たんぽぽ後援会花見
３/２７	特別支援学校裁判

１０、行事活動

個別支援計画書や日常でやりたい事や行きたい所を利用者から意見を吸い上げ、土曜日の取り組みや友の会の行事で取り組みました。

４月	・友の会主催花見（直方チューリップ祭り）		
	・がんばるデイ（街頭署名活動）		
５月	・県北ブロック風船バレーボール大会		
６月	・ポップサーカス観覧	・個別支援計画書説明、秀峰園利用契約更新	
	・川崎社協バスハイク	・野球観戦　VS 巨人戦	
	・夏の物販	・熊本一泊旅行	
７月	・風船バレー優勝祝勝会	・野球観戦　VS 西武戦	・健康相談
８月	・大掃除	・そうめん流し	・映画鑑賞「明日へ」
	・ボウリング	・健康診断	
９月	・東鷹高校定期演奏会		
１０月	・避難訓練	・秀峰園まつり	
１１月	・冬の物販	・田川市美術館観覧	・川崎福祉まつり
	・風船バレーボール大会	・軽作業班　別府旅行	・健康相談
１２月	・がんばるデイ（街頭署名活動）	・軽作業班　クリスマスパーティー	
	・忘年会		
１月	・初参り、新年会	・小運動会	
２月	・街頭署名		
３月	・避難訓練	・つくしの里合同作品展見学	・健康診断
	・友の会総会	・バーベキュー（お疲れ様会）	

利用者のニーズを取り入れながら、職員会議等で十分に協議、提案しながら、必要に応じて、バス等を借用し、安全に楽しめるものを提供出来ました。